

第1回 米山奨学生 スピーチコンテスト報告

米山奨学委員会

委員長 磯田 郁子
(大阪東淀ちゃやまちRC)

日時：2011年2月19日(土) 14:00～16:00

場所：大阪国際交流センター

参加者：【審査員】松本G、近藤R | 理事、若林PG、岡部GE、高島GN、磯田委員長、武島副委員長、
 渚校友会役員(以上8名)
 村橋、米田、田中、西谷、吉田、有竹、中川、小山、榊原各委員
 参加者 100名

初めての試みである米山奨学生による日本語スピーチコンテストを2月19日に開催いたしました。これは米山奨学生が、日本ででの生活で感じたことや日本ででの学習の成果を発表すること、地区内ロータリアンに米山奨学生の意見や考えを伝える機会とすることを目的として企画いたしました。

今学年度41名の奨学生のうち14名が応募、うち当日は12名が出場いたしました。母国で日本語を学習してきた者、日本に来てからゼロから日本語を学んだ者など様々ですが、出場者は皆、素晴らしい日本語で自分の意見や主張を堂々と述べました。「アルバイト先で差別されていると感じて悲しかったが、自分の心を開くことでその差別はなくなる。」「日本と中国の関係が冷え込んでいる現在、こんな時こそお互いの国の文化を知り、マスコミやマスメディアの報道に振り回されることなく自分の考えで

中国人は日本人と日本人は中国人と接して欲しい。」など様々なスピーチがあり、考えさせられました。

また、このスピーチを聞いたロータリアンからは「もっと多くのロータリアンにこのスピーチを聞かせたい。」「米山奨学生の各スピーカーの心のこもったスピーチ内容もさることながら、一語一語の正しい言葉使いに感銘を受けた。」「若いスピーカーから夢をもらった。」などの感想をいただきました。

本業の研究や勉強で忙しい中、このスピーチコンテストに応募してくださった米山奨学生の皆様に心から感謝するとともに、当日ご出席くださったロータリアンにお礼を申し上げます。このスピーチコンテストがこれからの本地区での更なる米山奨学制度への理解と発展に繋がることを願っています。

- ◆最優秀賞 刘 璐(中国) 「心を開いて、勇気を出して、真の異文化理解へ」
大阪大学博士課程 世話クラブ：大阪御堂筋RC
- ◆優秀賞 ハニバロバ・レンカ・スザナ(チェコ) 「世界の人々の架け橋」
関西大学学部4年生 世話クラブ：大阪RC
- ◆優良賞 張 仲 凱(中国) 「人生の新たな出発」
大阪日本語教育センター進学過程 世話クラブ：大阪平野RC
- ◆特別賞 周 明(中国) 「日本留学で学んだこと」
大阪大学修士課程 世話クラブ：茨木RC
- ◆特別賞 バスネト マドゥ(ネパール) 「米山奨学生になって～幻の恋に会った～」
大阪産業大学修士課程 世話クラブ：大阪本町RC

